

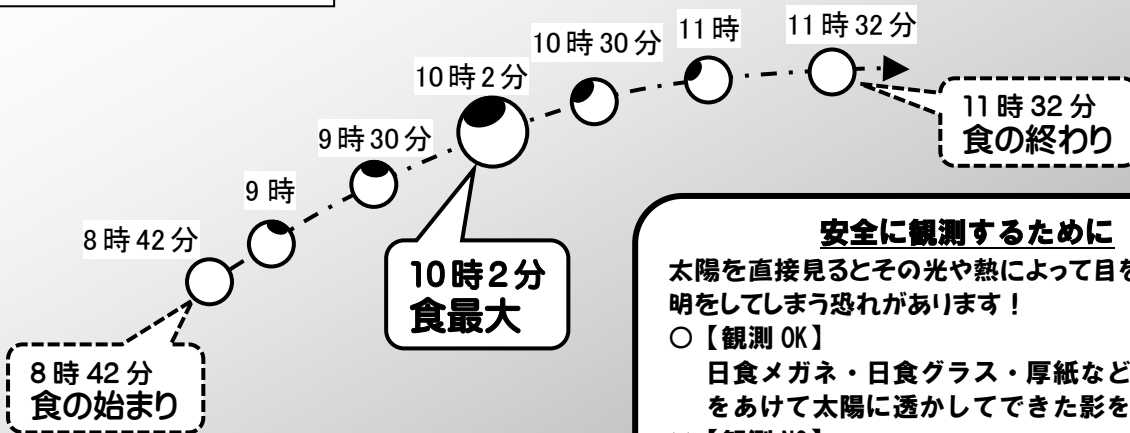
ほしみる

No.67 2018.12.26

一日の計は朝にあり 一年の計は元旦にあり

新年明けて1月6日の午前中、太陽の一部分が少しずつ欠ける部分日食が起こります。初日の出と合わせて、1月の朝はさわやかな気持ちで太陽を眺めてはいかがでしょうか。

1月6日 部分日食
松本の太陽の動き



安全に観測するために

太陽を直接見るとその光や熱によって目を傷つけ、失明をしてしまう恐れがあります！

- 【観測 OK】
日食メガネ・日食グラス・厚紙などに小さな穴をあけて太陽に透かしてできた影を観察する
- ×【観測 NG】
黒い下敷き・サングラス・双眼鏡や望遠鏡を直接のぞいて観測する

南東

南南東

南

南南西

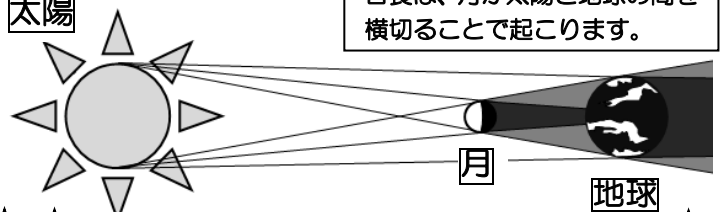
2019年の初日の出

新年最初の朝に太陽が昇ることを、「初日の出」といいます。高山で迎える日の出は「ご来光」とも呼ばれ、仏様のご来迎との語呂合わせが由来です。山頂の雲や霧に自分の影が映り、その周りに見えた光の輪（ブロッケン現象）が、後光が差した仏様に見えたのでしょうか。

松本では、初日の出を6時59分に迎えます。四方を山で囲まれているため、地域によってはやや遅れて現れるかもしれません。日の出直前が最も冷え込む時間帯なので、暖かい格好をして風邪をひかないようにお気を付けください。



太陽



日食は、月が太陽と地球の間を横切ることで起こります。

プラネタリウムは休館中です

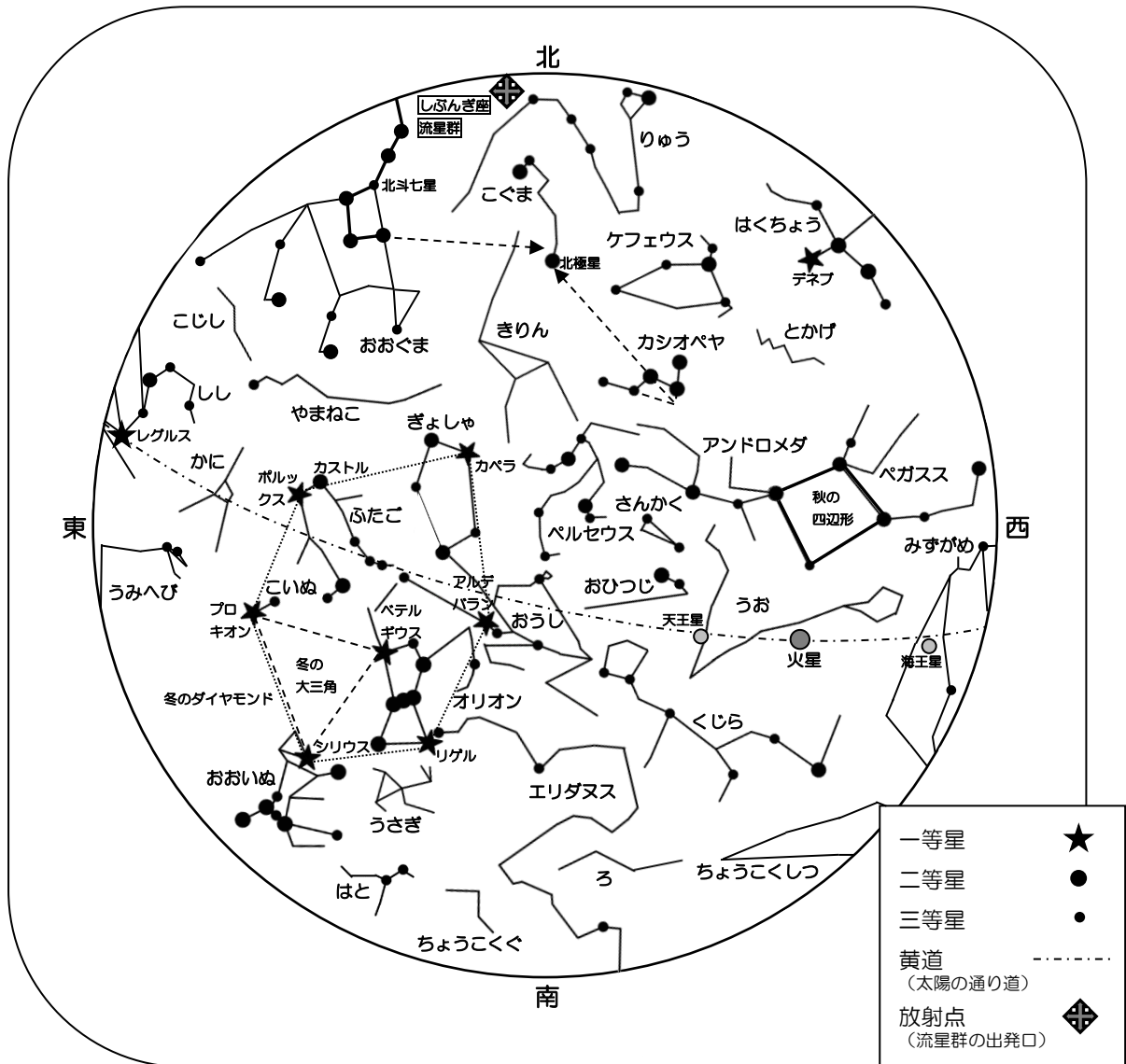
2019年4月末、プラネタリウムが新しくなります。9,500個の恒星と、800万個の天の川を映し出すことができる、超小型光学式プラネタリウム「オルフェウス」と、学習効果の高いデジタル式プラネタリウム「ステラドームプロ」を組み合わせた、ハイブリッド式プラネタリウムに生まれ変わります。ドーム内も改装し、リクライニングシートが使いやすくなります。プラネタリウム用番組を作る講座も開講予定です。



©GOTO

季節の星空

1月15日20時頃の松本の星空



1月の主な天文情報

- 1(火) 初日の出(松本 6時59分)
- 2(水) 細い月と金星が大接近(3時30分頃～日の出直前)
- 4(金) ^{きょくだい}しぶんぎ座流星群が極大(極大時刻は11時)
(出現期間 1/1～1/7、極大時は1時間に約45個出現)
- 6(日) 新月/部分日食(8時42分～11時32分、食最大10時2分)
金星が^{せいほうさいだいいりかく}西方最大離角(日の出直前)
- 13(日) 月と火星が接近(日没後～23時頃)
- 21(月) 満月、皆既月食(日本からは見えない)
- 23(水) 金星と木星が接近(4時～日の出直前)
- 31(木) 細い月と木星が大接近(4時～日の出直前)

★ 極大→天体の活動が最も活発になること。流星群の場合は、最も多く流星が現れる。★

★ 西方最大離角→地球から見て、太陽から最も西へ離れる角度。地上からは、日の出直前の東の空高い位置で内惑星が見える。★

松本市教育文化センター
〒390-0221 松本市里山辺 2930-1
TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604
E-mail: kyoubun@city.matsumoto.lg.jp